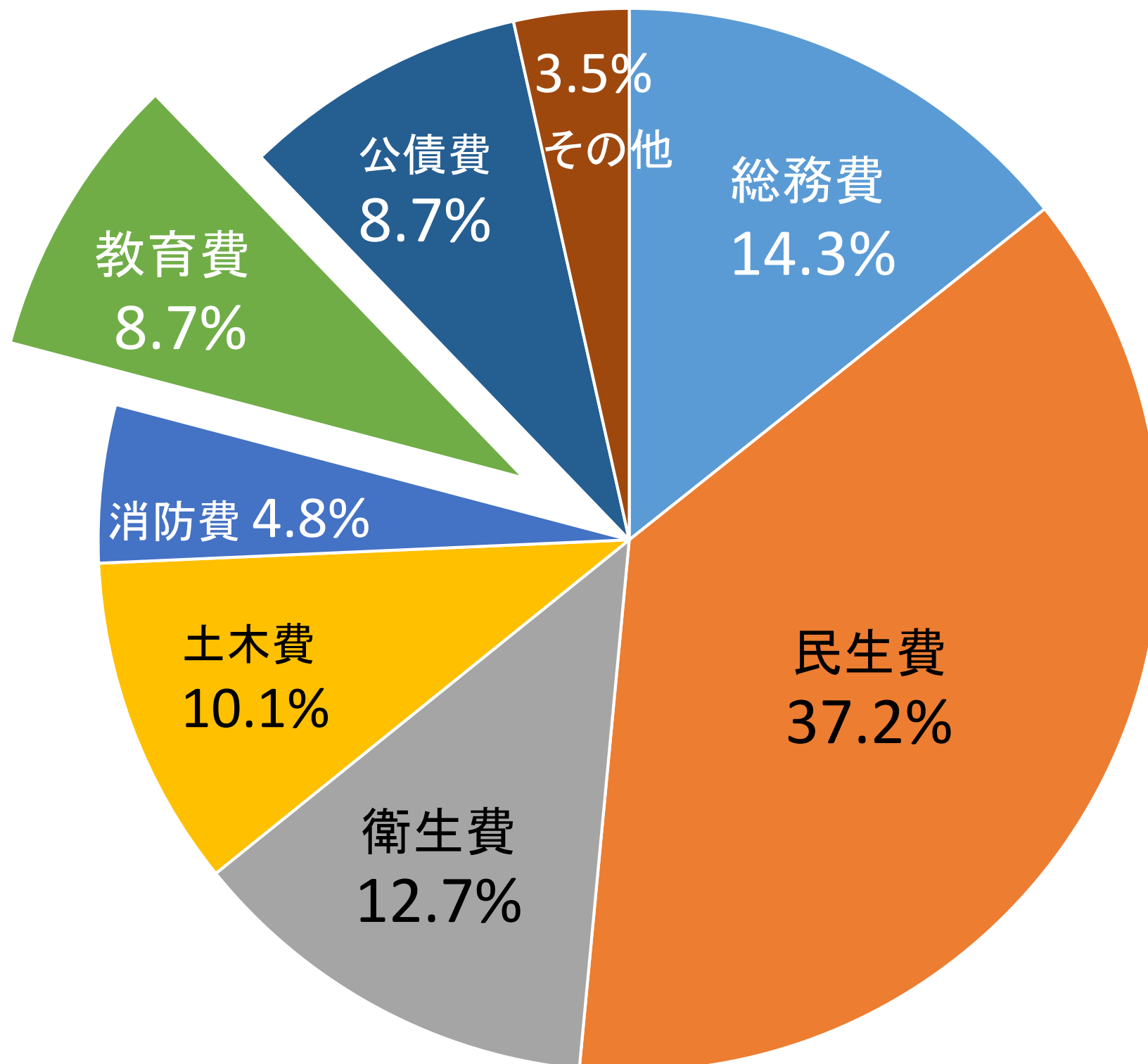


一般会計に占める教育費の割合（平成30年度）

一般会計の中で、どれぐらいが教育費（学校関係、ラディアン、図書館運営等）なんだろう？



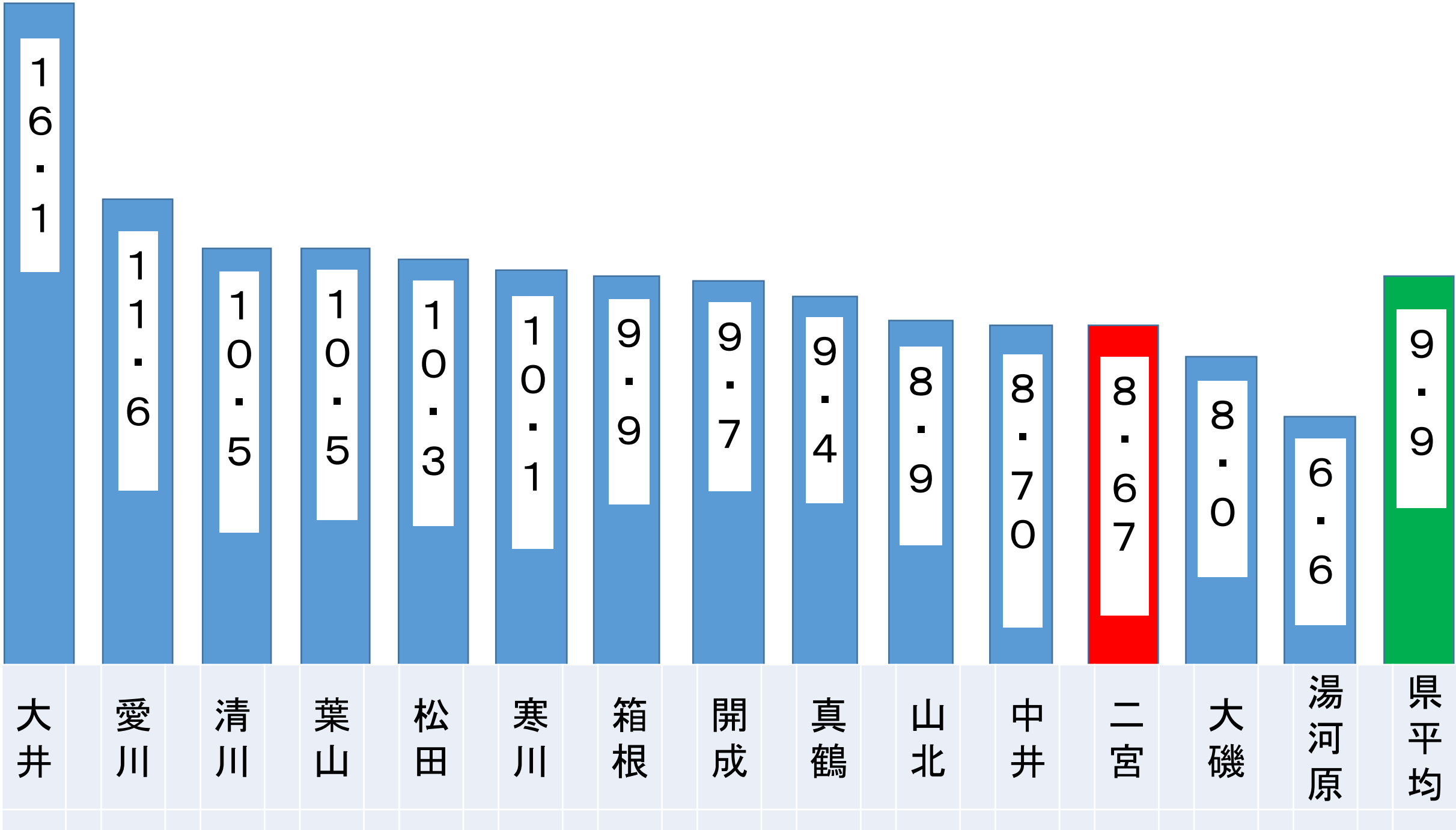
■ 総務費 ■ 民生費 ■ 衛生費 ■ 土木費
■ 消防費 ■ 教育費 ■ 公債費 ■ その他



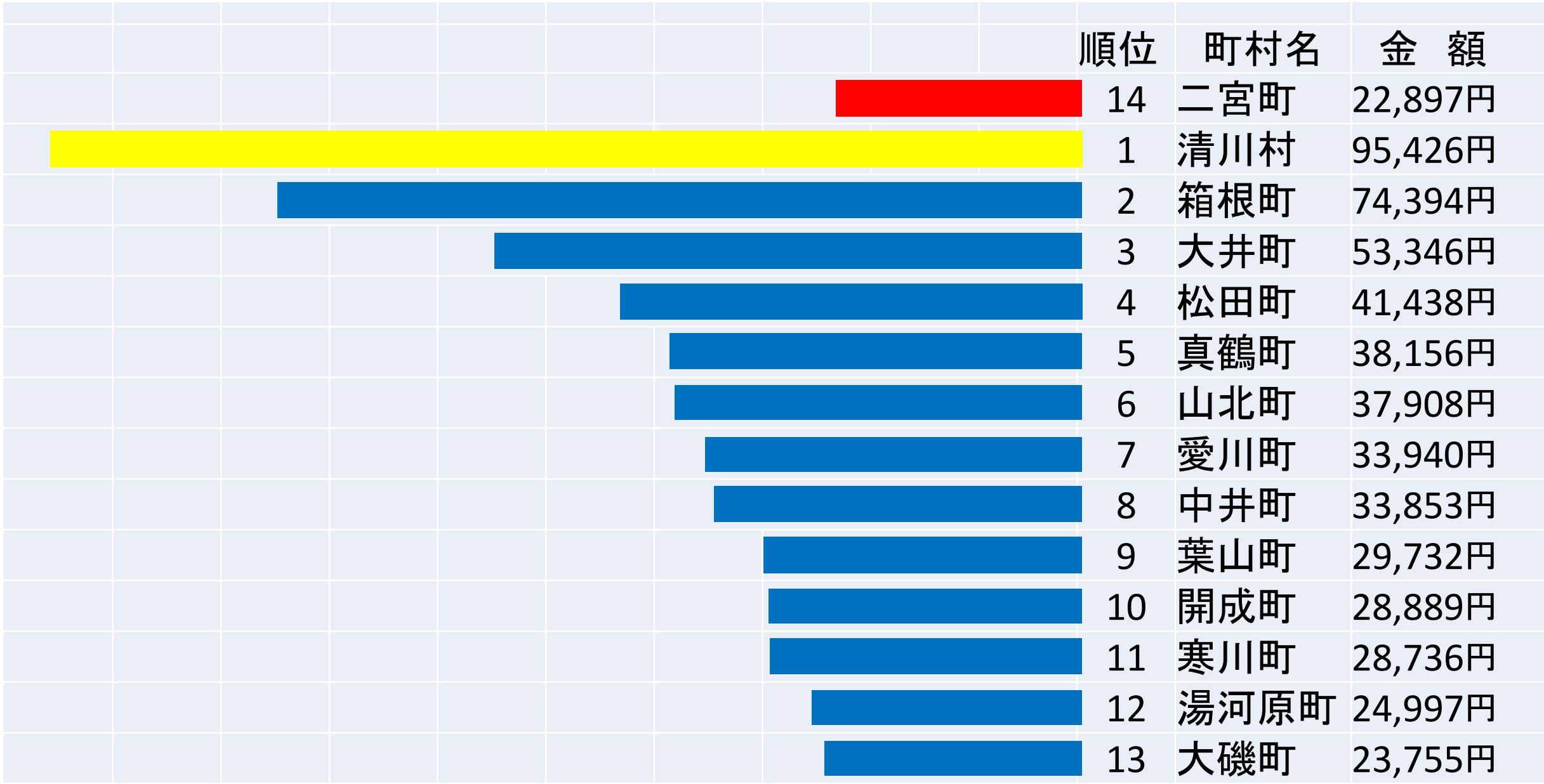
※学校教育費と社会教育費の合計

一般会計に占める教育費の割合(%)
神奈川県町村比較

町村名	構成比
大井	16.1
愛川	11.6
清川	10.5
葉山	10.5
松田	10.3
寒川	10.1
箱根	9.9
開成	9.7
真鶴	9.4
山北	8.9
中井	8.7
大磯	8.0
二宮	8.7
湯河原	6.6
町村平均	9.9



平成29年度町村別人口一人当たりの教育費



※教育費＝学校教育費と社会教育費の合計

全国・神奈川県町村公立学校の 情報化教育 (ICT環境整備) ランキング

小学校（対象全国自治体数 1748）

町村名	全国 順位	県内 順位	インフラ	学校数
松田町	340	1	77.2%	2
愛川町	488	2	73.4%	6
中井町	909	3	65.5%	2
真鶴町	1007	4	63.5%	1
開成町	1071	5	62.3%	2
清川村	1131	6	60.9%	2
箱根町	1272	7	57.6%	3
山北町	1293	8	57.1%	2
大磯町	1400	9	53.8%	2
大井町	1601	10	45.4%	3
葉山町	1687	11	38.7%	4
湯河原町	1710	12	35.5%	3
寒川町	1716	13	33.2%	5
二宮町	1728	14	31.6%	3

中学校（対象全国自治体数 1782）

町村名	全国 順位	県内 順位	インフラ	学校数
愛川町	953	1	67.6%	3
清川村	1080	2	64.9%	1
真鶴町	1279	3	60.3%	1
松田町	1287	4	59.9%	2
中井町	1388	5	57.3%	1
箱根町	1407	6	56.6%	1
大磯町	1513	7	53.0%	2
寒川町	1516	8	52.8%	3
山北町	1611	9	48.1%	1
大井町	1707	10	41.4%	1
開成町	1724	11	38.6%	1
湯河原町	1744	12	36.2%	1
葉山町	1762	13	31.2%	2
二宮町	1763	14	31.2%	2

データは、文部科学省の調査「学校における教育の情報化の実態に関する調査結果」より(2016年3月1日時点)。「インフラ整備」は、以降の達成度を基に算出。○児童・生徒用パソコンの導入(1人に1台に対する) ○普通教室のLAN整備率 ○学校のインターネット接続率 ○教員用パソコンの導入(教員1台に対する) ○電子黒板の整備率(各学年2台＝小学校は12台、中学校は6台に対する) ○電子黒板のある学校の割合 ○デジタル教科書の整備率 ○校務支援システムの導入率 ○統合型校務支援システムの導入率 ○学校CIOの設置率

平成30年度の学校教育費を見てみましょう

英語教育949万円

【ALTの活用】

今年度から小学校3年生以上の英語の授業（15時間）が必修となる。5・6年生では15時間増で50時間。低学年から英語に親しみを持てるよう、1年生から英語の授業を展開したり、ALT（英語を母国語とする英語の先生）を手厚く予算立てする自治体が多い。二宮町ではALTの人数が昨年比で減。

【英語検定奨励金】

英検を受験する中3に対し、3級受験相当額を限度に検定料を助成する。

- ・小学校の英語教科化に向けた教材の整備。
- ・研修会（教職員を対象とした、新学習指導要領を見据えた取組について研修）の開催。

ICT推進事業290万円

二宮町は小・中学校ともICT機器導入など教育環境整備は全国でも最下位に近い。今年度予算で実物投影机56台を小・中学校各教室に1台、教員用のタブレットを5校で21台、大型テレビを14台導入する。

県内ランキングで、小学校1位、中学校4位の松田町では、2015年度から2年間で3,000万円をかけ、5・6年生全員に貸与、2017年度は中学校2年生まで全員にタブレットを貸与した。葉山町でも、本年度は1,492万4千円を計上し、教育情報通信ネットワーク基盤システムや教育用タブレットを借上げるなど、コンピュータや情報通信ネットワークなどに必要な整備を行う。

このように、県内他の町村では、多額の予算を組み、タブレットや、電子黒板、普通教室のLAN整備など、ICT環境を充実させている。

平成30年度の学校教育費を見てみましょう②

小中一貫教育研究事業20万円

県の「小中一貫教育推進モデル校事業」を活用し、確かな学力の育成に向け、9年間を見通した小中一貫カリキュラムを作成。検討会(年4回)、研修会(教職員対象、年2回予定)を開催し、小中一貫教育カリキュラム試行に向けた教材の整備を行う。

【小中一貫教育校導入の効果】

- (ア) 急速な社会の変化 集団の規模が確保され、一定規模の集団を前提とした教育活動が保障される。
- (イ) 学力や学習意欲について 中学校の教員が小学校で授業を行うことにより、小学生はより専門性に根差した授業を受けることが可能となり、学力や学習意欲の向上が期待できる。
- (ウ) 不登校やいじめなどについて 小学校の児童にとっては、日常的に中学校の生徒や教職員と共に学び共に生活することにより、中学校での生活に対する不安を感じる事が少なくなることが期待できる。
- (エ) 地域や家庭の教育力について 9年間の繋がりの中で保護者同士の関係も広がり、例えば、中学生の保護者が小学生の保護者の相談に関わるなど、悩みの共有や解決が図られやすくなる事が期待できる。
- (オ) 学校規模の縮小に伴う、教育環境の充実と教育資源の効果的な活用について 小中学校が一体的な組織となることで、校務分掌が効率的に行われることなど、教育資源の効果的な活用が期待できる。

平成30年度の学校教育費を見てみましょう③

コミュニティ・スクール 導入促進事業87万5千円

地域とともにある学校づくりの手法の一つとして、今年度より一色小学校がコミュニティ・スクールとなった。来年度からは残り4校もコミュニティスクールとなる。

一色小学校では「学校運営協議会」を設置するとともに、他4校においては準備委員会を立ち上げ、保護者や地域住民、教職員に対して、情報提供、研修、研究促進の組織体制作りを行う。

【学校運営協議会の開催】

運営協議会の発足、開催(年5回)

【準備委員会の開催】

コミュニティ・スクール準備委員会を開催(年4回予定)

【研修会の開催】

コミュニティ・スクール導入研修会を1回(教職員対象)開催

その他

学校図書館推進事業 381万2千円

・学校図書館の充実を図る。

特色ある学校教育プラン推進事業 117万5千円

・特色ある学校教育プランを推進。

・教職員授業力向上研究事業。

芸術鑑賞委託料 小学校3校に各20万円

・各校ごとに内容を検討し、年1回実施。

二宮中学校部活動備品購入費 5万9千円

・部活動に必要な備品の購入費。

二宮西中学校部活動備品購入費 2万5千円

・部活動に必要な備品の購入費。

小中学校修繕費 300万円

・各学校の修繕に係る経費

エアコン設置 1,340万円

・5校、各1基。(音楽室や図書室などの特別教室)

「学校教育費、何に使ってほしい？」

	とても急ぐ	じっくり取り組む
とても重要		
重要		